

問題



この漫画のタイトルは1〜5のうちのとれだと思えますか？

○印を付けて下さい

- 1. 煎り豆に花が咲く
- 2. 入り鉄砲に出女
- 3. 海豚の千匹連れ
- 4. 達乱は未練の相
- 5. 蔓を並べる

- 1. 二枚舌を使う
- 2. 二の句が継げない
- 3. 二足の草鞋を履く
- 4. 二進も三進も行かない
- 5. 二の足を踏む



ニッポンが継げない



ニッポンが継げない

「あたしと結婚……」



口はほつたいようで恐縮であるが、若いコはものを知らない。ものを知らないのは仕方ないとしても、ものを知らないことを少しは

恥ずかしいと思ってもらいたい。

「えっえー、アメリカとニッポンって戦争したのオ？」には二の句が継げなかったが、

「で、どっちが勝ったのー？」には、ド二の句が継げなかった（この下は、超弩級とか、さらにもものすごいとかのドである）。

あまりに驚いたり、呆れたりして何も言えなくなるのが二の句が継げないであるが、若いコは「ワッソー」「やっだあ」で、二の句も三の句も継いでいく、気おくれして会話とぎれるなんてことがないのである。

で、気がついた。二の句が継げなくなる人は、ものを知っている人、ものごとの判断ができる人ということに。

私は若いころ判断力が無かった（今もだが）。「お話ししたいことがあるの」と彼女から電話がかかってきたとき、

（とーとーきたか！「話って何？」「あたしと結婚してこのプロポーズだと察した私は、ルンルン気分待ち合わせ場所へむかった。思った通り、彼女は恥ずかしげにうつむいて、

「あたしと……」

（そら、きた）

「結婚しないで」。

二の句が継げないまま今日に到っている。





違^い乱^{らん}は未^み練^{れん}の相^{そう}

はははは



「知ってますよ。首都はテヘランでしょう」
「イランではない。違乱だ」

「だからイランでしょう」
「イランではない。違乱だ」

「何ですか？それ」

「一度決めたことを破ることを違乱という」
「で？」

「一度決めたことを破るのは未練がましい証
拠だというのを、『違乱は未練の相』という

「すると、きっぱりと諦めると約束しておき
ながら、諦めきれないでいるのを、その何と
かと言うんですね」

「その通り、男は一度決めたなら青空に向かっ
て、はははと笑うようになってはいかん」

「何で青空なんですか？」

「未練を断ち切るには、青空に向かって、は
ははに限るんだ。ははは」

「すると、禁酒を約束しながら陰でこっそり
盗み酒をしているのは、青空に向かってのは
ははをしていないからですね？お父さん」

「風邪を引いたと偽って学校を休むことは今
後しませんが誓いながら、腹が痛いと言病を
使うのも、はははが足りないからだ」

「遣伝するんですね、違乱は未練の相っての
は」

「そのようだ」

